

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：ヘルパーステーション ながひさ

サービス種類：☐グループホーム ・ ☐小規模多機能型居宅介護

☐地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護

■定期巡回・随時対応型訪問介護看護

日 時： 令和4年3月28日（月曜日）

場 所： 書面開催

出席者：7名

利用者代表	0人	知見者・地域代表	1人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
医療関係者	1人	連携訪問看護	1人
事業所職員（職名：管理者・サービス責任者）			2人

欠席者 人

報告事項：

利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

月	利用者数
10月	38名
11月	39名
12月	40名
1月	38名
2月	39名
3月	39名

②要介護度

【介護度別】

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
要介護 1	13 名	13 名	13 名	13 名	13 名	12 名
要介護 2	14 名	15 名	14 名	15 名	14 名	15 名
要介護 3	4 名	4 名	5 名	5 名	6 名	6 名
要介護 4	5 名	5 名	5 名	3 名	4 名	4 名
要介護 5	2 名	2 名	3 名	2 名	2 名	2 名
計	38 名	39 名	40 名	38 名	39 名	39 名

③男女比率

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
男性	14 名	14 名	13 名	12 名	12 名	13 名
女性	24 名	25 名	27 名	26 名	27 名	26 名
計	38 名	39 名	40 名	38 名	39 名	39 名

④年齢

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
60 代	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
70 代	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名
80 代	10 名	11 名	12 名	12 名	10 名	11 名
90 代	23 名	24 名	24 名	22 名	25 名	24 名
100 代	2 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
計	38 名	39 名	40 名	38 名	39 名	39 名

⑤地域（住所）別利用

令和４年３月現在、和かち逢う家入居者のみ利用されている。

地域名	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
大田町	6 名	6 名	6 名	5 名	5 名	5 名
水上町	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
富山町	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
川合町	3 名	3 名	3 名	2 名	3 名	2 名
長久町	12 名	13 名	15 名	15 名	15 名	14 名
温泉津町	3 名	3 名	3 名	2 名	2 名	3 名
五十猛町	1 名	1 名	1 名	2 名	2 名	2 名
大森町	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
仁摩町	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名
鳥井町	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
静間町	2 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
祖式町	2 名	2 名	1 名	1 名	1 名	1 名
大代町	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
久手町	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	2 名
三瓶町		1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
福島県	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
計	38 名	39 名	40 名	38 名	39 名	39 名

議 題：

1 活動状況報告

- ・現在、39 名定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用されている。
（新規 10 月：0 名、11 月：2 名、12 月：2 名、1 月：0 名、2 月：0 名、3 月：2 名）
- ・新規利用は 10 月～3 月では 8 名。サービス終了者や死亡終了者は 10 月～3 月は 6 名あり。
- ・ADL や認知等で状況に応じて頻回の訪問が必要か見極めを行い、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用につなげている。

【提供実績】 3/31 時点

月	定期巡回	随時訪問
10 月	7105 回	36 回
11 月	6268 回	37 回
12 月	7443 回	44 回
1 月	6743 回	46 回
2 月	6200 回	29 回
3 月	7339 回	62 回

2 意見、要望等

「事業所から」

- ・人材確保については継続して行っている。今後も多職種で連携し、自立支援に繋がるケアを行っていく。

「訪問看護から」

- ・自己評価にてコメントあり。

「医療関係者から」

- ・自己評価の所で今回も周辺コミュニティとの関わりが不十分であるとの評価です。新年度からは新たな取り組み（木曜日のサロン参加の呼びかけ、町づくりセンターでの医療相談を開催して交流の強化を図る、イベント開催等）をしていきたいですね。

「利用者家族から」

- ・以前のように施設を訪問し、利用者の部屋の中まで行って関わる事など出来かねるので、推進会議において話せることも限られてきます。それはいたしかたのないことと思います。
- ・施設の皆様には、日々お世話になっており大変感謝しております。

「知見者・地域代表から」

- ・新型コロナ感染症対策により面会制限が続いています。高齢者にとって、「孤独」は重度化要因になると思います。サロン参加の記載がありましたが、それ以外に家族や友人及び地域社会との繋がりが途切れないような工夫があればと思います。
- ・自己評価について判断基準マニュアルがあるかが気になりました。
- ・外部評価コメントについて、感染症対策のため外部者と合同の作業が出来ないからだとは思いますが、サービスの質を高めるには外部評価コメントは必要と思います。

「大田市役所から」

- ・退院後新規でのご利用もおありかと思いますが、退院時連携がどのように行われているのか、不便な点がないのか、逆に工夫されている点などありましたら聞かせて下さい。

→回答：各病院の地域連携室より和かち逢う家への入居の相談あり、家族の方が和かち逢う家に見学に来られた時に定期巡回・随時対応型訪問介護看護の説明を行っている。情報提供や退院前カンファレンス等で利用者様の状況を確認しサービスの調整を行っている。

- ・利用者が入居者のみとのことですが、大田市内で訪問介護が不足している中、他の在宅者の利用をご検討いただけないでしょうか？

→回答：空き枠を調整しながら、検討していきたいと思います。

3 今後について

- ・今後も多職種で連携し、声掛けや自立支援を促し個々にあった訪問計画を立案していく。

4 その他

- ・自己評価について

別紙参照

外部評価コメント欄について、「訪問看護」は（看）

「医療関係者」は（医）

「利用者家族」は（家）

「知見者・地域代表」は（知）

「大田市役所」は（大）

で表記しています。

で表示しています。

次回 令和 4 年 9 月 26 日（月）15:30～開催予定